



戸定歴史館開館 30 周年記念 令和 3 年度特別展第 2 弾 「幕府再興とパリ万博—1867・運命の転換点」

松戸市戸定歴史館(1991年11月3日開館)では、令和3年度の展示 特別展の第2弾として「幕府再興とパリ万博—1867・運命の転換点」を開催します。

徳川昭武と渋沢栄一は、江戸幕府15代将軍・徳川慶喜の命により1867年パリ万博へ派遣されました。幕府再興への布石であったはずのパリ万博参加、欧州での折衝中に、江戸幕府は瓦解の日を迎えます。

この史実を踏まえ、本展では、パリ万博に関係する基本情報と貴重な歴史資料を展示し、慶喜・昭武兄弟や使節団が展開した活動と、国内外情勢の変化について紹介します。また、大河ドラマ放映に合わせ渋沢栄一が果たした役割についても再考します。

- 会期 前期 令和3年 7月 3日(土)～ 9月20日(祝)
後期 令和3年10月13日(水)～10月31日(日)

※プレス内覧会は、令和3年7月2日(金)14時～15時に開催します

- 会場 戸定歴史館展示室

- 利用案内 入館時間 9時30分～16時30分(17時閉館)

休館日 月曜日(ただし、休館日が祝日の場合は翌日休館)

展示替期間 9月21日(火)～10月12日(火)

入館料 一般150円(共通入館券一般は320円)

高校・大学生100円(共通入館券高大生は160円)

※中学生以下無料

- 展示予定点数 約90点(前期・後期の入替分、複写写真を含んだ数)

- 展示構成 第1章 世界への船出—使節団、欧州へ

第2章 パリ万博—1867・運命の転換点

第3章 慶喜—決断「政権を朝廷ニ奉歸(かえしたてまつる)」

第4章 昭武—選択 迫る決断の時

エピローグ 新時代の光と影



●展示品（抜粋）

国指定重要文化財・名勝である戸定邸・庭園に住んだ徳川昭武が、渡欧時に使用した陣羽織「緋羅紗地三葉葵紋陣羽織（写真1）」、「御陣笠（写真2）」、「金側葵紋付節公肖像入懐中時計（写真3）」さらに「政権を朝廷ニ奉帰建白写（写真4）」などを展示し歴史への理解を深めます。



写真1 「緋羅紗地三葉葵紋陣羽織
（ひらしゃじみつばあおもんじんばおり）」
染織 1866年 丈 84.4cm 肩幅 54.7cm



写真2 「御陣笠（ごじんがさ）」
黒漆 1866年頃 径40cm 高さ6.5cm



写真3 「金側葵紋付節公肖像入懐中時計
（きんそくあおもんつきせつこうしょうぞういりかいちゅうどけい）」
1867年彫金 径4.8cm

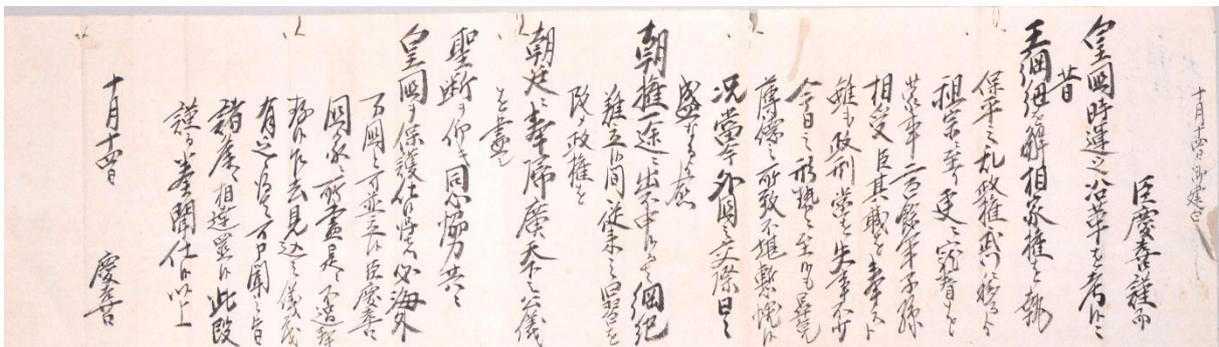


写真4 「政権を朝廷ニ奉帰建白写
（せいけんをちやうていにかえしたてまつるけんぱくうつし）」

縦 21.0cm×横 74.0cm

※現資料は慶応3年10月14日(1867年11月9日)か？



やさシティ、まつど。
matsudo

●展示で紹介する主要人物



徳川昭武（1867年撮影）



澁澤榮一（1867年撮影）



フランス皇帝ナポレオン3世
（撮影年不明）



江戸幕府15代将軍徳川慶喜
（1866～67年頃撮影）



やさシティ、まつど。
matsudo

●新型コロナウイルス感染対策

- ① 入館人数制限を行うことがあります（歴史館10名、戸定邸30名が目安）
- ② 入館時に手指の消毒、体調チェックシートの提出をお願いしております。
- ③ 個別の事前予約は必要ありません。
- ④ 戸定邸の団体見学に対するボランティアガイド(シティガイド)は休止中です。
休止期間は9月30日までの予定です。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0092 千葉県松戸市松戸7-4-1（月曜休館）

松戸市生涯学習部戸定歴史館

☎047-361-0056 FAX047-361-0056

✉ mctojurekishi@city.matsudo.chiba.jp